しあわせ信州
山々と育む　すこやかな国

長野県（林務部）プレスリリース　令和８年（2026 年）11 月 12 日

「ツキノワグマの出没年に準じた緊急措置」の終了についてお知らせします

令和７年 11 月 15 日から、人身被害防止の観点で実施してきた「ツキノワグマの出没年に準じた緊急措置」について、ツキノワグマ（以下、「クマ」という。）の出没状況等の変化を勘案し、平常年の対応に移行しますのでお知らせします。

県民等の皆様におかれましては、人身被害防止のため、引き続き出没状況等にご留意ください。

１ クマへの対応に関する変更点

(1) **年間捕獲上限数「出没年：675 頭」**を**「平常年：337 頭」**に戻します

(2) **学習放獣**を**再開**します

(3) **錯誤捕獲個体の放獣**を**再開**します

２ クマへの対応を変更した背景等

① 令和８年度における堅果類豊凶調査結果は全県的に「並作」以上と作柄が良く、堅果類の結実量の多さから、山林内に留まるクマが多いと予測されたこと

② 人の生活圏における８月以降のクマの目撃件数が極めて少ない状況にあること

③ ツキノワグマ専門部会で対応変更の妥当性が確認されたこと

３ 適用日　　令和８年 11 月 15 日（日）

４ その他

・現行の長野県第二種特定鳥獣管理計画（第５期ツキノワグマ保護管理）は、令和９年４月を始期とする次期計画に向け、現在、計画内容の見直しを行っていることから、今回お知らせしたクマへの対応変更については、令和９年３月 31 日までの暫定措置となります。

・今後、クマ出没が著しく増加するなどの状況変化が認められる場合は、次期計画のもと、必要な措置について改めて検討します。

・詳細については、別紙 「ツキノワグマに関する動向」をご覧ください。

県民等の皆様へのお願い

人身被害の未然防止・被害軽減のための取組について、ご協力をお願いします。

※ 長野県ウェブサイト「ツキノワグマについて知っていただきたいこと」をご覧ください。
https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html

キャッチフレーズについては
こちらから➡

つなぐ木のいのち
NAGANO WOOD PRODUCT

（問合せ先）
担　当　林務部森林づくり推進課鳥獣対策係
宮坂、神谷、柿崎
電　話　(代表)026-232-0111（内線）3264
(直通)026-235-7273
ＦＡＸ　026-234-0330
電子メール　choju@pref.nagano.lg.jp

（別紙）

ツキノワグマに関する動向

令和 8 年 11 月 12 日
森林づくり推進課

1　人の生活圏におけるクマの目撃件数（過去 5 年間との比較）

・今年度は、春先からクマの活動が活発化し、人の生活圏における 5 月から 6 月の目撃件数は、平成 18 年度以降、過去最多。市街地出没が相次ぐ中、6 月には人の生活圏において人身被害が発生（人身被害 4 件（4 人）のうち、人の生活圏での人身被害は北アルプス地域の 1 件のみ）

・目撃件数は、7 月を境に減少に転じ、8 月から 10 月は過去最少レベルの目撃件数となった

・夏以降の目撃件数の減少要因は、堅果類など山の中の餌となる植物が多かったものと推定

（単位：件（人））

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	人身被害
R3	16	78	210	266	205	116	83	62	20	1	0	2	1,059	16（16）
R4	20	56	124	147	211	113	50	26	9	3	3	8	770	8（ 8）
R5	25	68	288	235	275	209	156	117	23	5	3	2	1,406	11（12）
R6	20	107	347	273	348	203	67	49	8	4	2	2	1,430	12（13）
R7	25	59	226	200	183	176	219	174	42	9	4	7	1,324	11（16）
5年平均	21	74	239	224	244	163	115	86	20	4	2	4	1,198	11（13）
R8	30	119	354	212	89	69	38						911	4（ 4）

※ R8.10.31 現在速報値

2　令和 8 年度 堅果類豊凶調査結果（R8.9.17 プレスリリース）

調査実施時期：8 月下旬～9 月上旬

調査結果の総評

・本年度は、県全体で堅果類の結実が多い傾向で、特にクマの出没数を左右するブナやミズナラは、県北部で安定した結実が認められた

今後の出没予測

・全県的に堅果類の結実量が多いため、秋以降は、山林内に留まるクマが多いと予測され、人の生活圏におけるクマの大量出没の危険性は、低いと考えられる

・堅果類の豊作年には出産個体が増えると言われ、来春の親子グマの出没は、増える可能性がある

樹種別	判定	前年比	豊凶の状況
ミズナラ コナラ	並作 （並作下）	→	・一部に結実量が少ない地域もあるが、全県的に並作程度の結実が認められる
ブナ	豊作 （凶作）	↑	・ブナが広く分布する県北部では豊作から大豊作である
クリ クヌギ等	並作上 （並作上）	→	・地域や個々の樹木によるバラツキはあるが、全体でみると例年同様に一定の結実が認められる

地方〔地域〕別	判定	前年比	豊凶の状況
東信 〔佐久、上田〕	並作 （並作）		・地域や個々の樹木によってバラツキはあるが、昨年と同程度の結実が見込まれる
南信〔諏訪、上伊那、南信州〕	並作下 （並作）		・広く分布するミズナラ・コナラは凶作の場所もあるが、例年並の結実が見込まれる
中信〔木曽、松本、北アルプス〕	並作上 （並作）		・木曽地域は昨年並みの結実であるが、松本以北では昨年よりも作柄が良く、結実は多い
北信 〔長野、北信〕	並作下 （不作）		・ブナは豊作以上の作柄で結実が多い。コナラやミズナラは地域差があるものの、並作程度の結実が見込まれる

※（　）はR7の判定

※豊凶判定：大凶作 ＜ 凶作 ＜ 不作 ＜ 並作下 ＜ 並作 ＜ 並作上 ＜ 豊作 ＜ 大豊作